

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境					0.40		-		3.4
1 音環境				3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		-		3.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能		-		3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		3.0	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		3.0	-	-	-		
1.3 吸音		-		3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温		-		3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		-		3.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		-		3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.9	0.25	-	-		3.9
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-		
1 昼光率		-		3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		昼光制御は、庇とカーテンにて制御している。		4.0	1.00	-	-		
3.3 照度		主として業務を行う室は全般照明方式で、500lx以上750lx未満としている。		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		画像センサー及び明るさセンサーを設置し、設備負荷を低減した。		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-		3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用した。		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.3	0.30	-	-		
1 換気量		-		3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		-		3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		-		1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		主として業務を行う室に集中管理CO ₂ センサーを設置。		5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		建物全体禁煙としている。		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.6
1 機能性				3.8	0.40	-	-		3.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-		3.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-		3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画		-		3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		-		3.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを設け、1階に自動販売機を設置。		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		積極的に県産木材を利用し、居心地のよい空間作りに配慮。		5.0	0.33	1.0	-		
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		耐久性の高い仕上材を用い、メンテナンスが容易な計画とする		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		設備のメンテナンスや日常清掃のしやすさに配慮している		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.9	0.30	-	-		3.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.5を見込んだ設計である。		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級2相当である。		4.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室1:床 タイルカーペットt6.5(OA707採用)、壁 ビニル壁紙(PB t9.5+12.5)、天井 ロックウール化粧吸音板t12(PB t9.5)		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		-		2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		-		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスとしている。		5.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		精密機器は地上階に設置、光ケーブル、災害時の有線電話の設置		4.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		3.1	0.30	-	-	3.1
	3.1 空間のゆとり		3.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高 3.7m以上3.9m未満	4.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.63	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.64、LED照明設備を採用	4.6	0.50	-	-	4.6
4	効率的運用		1.5	0.20	-	-	1.5
	集合住宅以外の評価		1.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	1.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
	1.1 節水	自動水栓などに加えて、節水型便器を採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	雨水を利用している。	4.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材:ビニル床シート	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、稼働間仕切も採用。	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	適量の駐輪場(バイク置場も含む)と駐車場を確保し、入庁機関所有の(職員用)管理用車両及び身障者用の駐車施設も確保している。	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
	2 振動	-	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	1.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害がガイドラインのチェックリストの過半を満たしている。広告物照明は行っていない。	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	8.0	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	2.0	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	9.0	-	-	-	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	-	-	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	1.0	2.0	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
			η AH

3.1.1 昼光率

昼光率 -

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 -

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース /人 病床 /床 シングル ツイン

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.6 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 休養室、休憩室、トクスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 60 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 15 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 1F:4.2m ; m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 32.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 2900 N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 26% 建物緑化指数 24%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 60% 水平投影面積率 14% 地表面対策面積率 21% 舗装面積率 52%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.63 断熱等性能等級 等級2 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 採光を満たす住戸数

通風を満たす教室数 通風を満たす住戸数

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.64 住宅 太陽光 40.0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 エコマーク商品 1.00 自治体指定の特定品目等

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 2090

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	52%	隣棟間隔指標Rw	0.40
地表面対策面積率	36.0%	屋根面対策面積率	24.0%
		外壁面対策面積率	0.0%
見付面積S _b	800m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	74.868 m
		基準高さH _b	20.2 m
緑地	690m ²	水面	m ²
		保水性対策面	m ²
		高反射対策面	m ²
		再帰性反射対策面	m ²